

トピックス

病院見学のサポートや相談セミナーなど随時受け付け中!

当協議会では、県外医学生の病院見学をサポートする「ずんばい回ろう!病院見学アシスト!」を通年で行っています!ご希望のもとに、協議会事務局が見学希望先との日程調整等を行いますので、皆さまが病院1つ1つに申し込みを行う手間が無くなり、試験や実習に集中することが出来ます!交通費や宿泊費の補助もありますので、春休みなどご都合の良いタイミングで是非1度活用してみてください!

また、皆さまの要望に可能な限りお応えして、指導医や研修医との交流の場をセッティングする「よろず相談セミナー」も随時実施しています!(鹿児島県にゆかりがない研修医になぜ鹿児島県を選んだのか聞いてみたい、〇〇科の指導医の先生から話を聞いてみたい、etc)

オンライン対応はもちろん、ご希望に応じて皆さんの住む街や大学を訪問する出前セミナー形式でも対応しています。お1人でも、ご友人と一緒にでも無料にて開催しておりますので、まずは「こんなセミナーって出来ますか?」くらいの気持ちでお気軽にお問い合わせください。

どちらのイベントも当協議会の公式Webサイトから随時受け付け中です!(ただし病院見学アシストは見学実施月に応じた申し込み締切あり)

皆さまからのお申込みをお待ちしております!



鹿児島大学医学部で第2回対面式合同説明会を開催しました!

令和8年1月15日に鹿児島大学医学部鶴陵会館にて、県内すべての基幹型臨床研修病院(12病院)が一堂に会する臨床研修病院合同説明会を開催しました!

多くの医学生に参加していただき、指導医・研修医・病院関係者から、病院や研修プログラム内容の説明や研修医としての生活について紹介してもらいました。

令和8年度は第1回を7月頃に、第2回を1月頃に実施予定です。詳細につきましては、今後協議会公式Webサイト等にてご案内します。研修医の生の声、鹿児島県で研修を行うことの魅力を知る絶好の機会です!是非ご参加ください!



第2回臨床研修医合同研修会を開催しました!

令和8年1月17日に「第2回臨床研修医合同研修会」を開催しました。

鹿児島県内から100名を超える初期臨床研修医や指導医の方々が集まり、1年目・2年目あわせて8名の研修医がこれまで経験した症例の発表や、専攻医から研修医に向けた先輩医師としてのお話、さらには専門研修プログラムの紹介がありました。

他院の研修医がどのような研修を行っているのかを知ることができた、今後の医師としてのライフプランを考えるためのヒントを得ることができた、研修医にとって良い刺激となったなどの感想をいただきました。

当協議会では、引き続き様々な取組を通して研修医のキャリア形成をサポートします。ぜひ一緒に鹿児島県で医師としてのキャリアを積み上げていきましょう!



鹿児島県初期臨床研修連絡協議会 (事務局:鹿児島県 保健福祉部 医師・看護人材課)

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5928

https://kagorinsho.jp/



鹿児島流

熱いハートの医師 育てます



写真協力:鹿児島県PRポスター

私の臨床研修医時代

総合病院鹿児島生協病院 小児科 中村 亨さん

出身校 真和高校▶鹿児島大学

私は1981年に鹿児島大学を卒業しました。現在の研修システムとは異なり、卒後は希望する診療科ですぐに研修を開始し、ほとんどは大学に入局する時代でした。私は鹿児島県民連で医療に貢献しようと考えていましたので、大阪府堺市の民医連傘下の耳原総合病院で小児科研修を開始しました。一般外来、救急外来、病棟医療で軽症例から重症例まで幅広い疾患の子供たちの診療を経験させていただきました。ただ小児の救急蘇生を経験することがなく不安が強かったので、2年間の研修修了後は国立小児病院(現国立成育医療研究センター)の麻酔科で6か月間研修した後、鹿児島生協病院に帰任いたしました。帰任後は鹿児島県民連の離島を含む県内の各院所で勤務し、2008年から鹿児島生協病院で勤務しています。無駄な経験はありませんでした。積極的な姿勢で研鑽してください。疾患ではなく病んでいる人を診ることを忘れないで下さい。自戒の念を込めて。



出身地 熊本県

指導医の思い



出身地 愛知県

やました まさかつ
山下 正勝さん 出身校 長久手高校▶鹿児島大学歯学部▶山口大学医学部学士編入
勤務先▶公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院

2011年に鹿児島大歯学部を卒業し、歯科医師として研修後、山口大学へ学士編入し、2018年より名古屋にて医師として研修がスタートしました。

医師の初期研修時代、良き指導医と出会い「守破離」という言葉を教わりました。研修医2年目の12月、初めて肺がんの執刀機会を頂きましたが、当然思うようにはいきませんでした。その時に言われたのが「まずは型を作れ。守破離を意識しなさい」という言葉でした。徹底して指導医を真似る。すなわち型を「守」ることが土台です。型ができて初めて他の方法を取り入れて「破」り、やがて自分なりの理想へと「離」れていく。これは手術に限らず、救急対応、病棟管理等に通じます。基本を飛ばせば、それは型破りではなく型無しです。

私は医師9年目、歯科医師となつては16年目ですが、理想を求めて「破」の途中です。医師人生は長い。初期研修という医師としてのスタートで、焦らず型を身につけて確かな土台を築いてください。



出身地 大阪府

にしもと よしや
西元 嘉哉さん 出身校 大阪府立三国丘高校▶京都大学
勤務先▶大隅鹿屋病院

【胸を張って、「医者」と名乗れるように】

ちょうど10年前、初期研修医として大隅鹿屋病院に入職しました。医師免許をとり、真新しい白衣に身を包み、親切な同僚に囲まれ… 打ちのめされました。自分は全然ダメだ。当院は、inputとoutputのバランスを重視する教育方針であり、それは僕が研修医の頃も今も変わりません。先輩の処方を見て、次は自分で提案してみる。自分で調べてきた内容を、カンファレンスで披露する。どんなに頑張っても、先輩たちの方が優れています。打ちのめされる日々でした。これでは、僕が居ないほうが目の前の患者さんは、よりhappyなのでは？と思いつめたこともあります。だからこそ、努力しました。タイプに拘る、学びやすい環境に身を置かねばならない。そんなことは当たり前です。それら前提を揃えたうえで、後は努力！患者さんに、同僚に、家族に、何より自分に。自分は今日も医者です！と胸張って言うように。そんな風に努力を今も続けている、その原点となった研修時代でした。



出身地 福岡県

なんだて とおる
南立 亮さん 出身校 福岡大学附属大濠高等学校▶鹿児島大学
勤務先▶南風病院

私は1996年に大学を卒業後に鹿児島大学放射線科に入局しました。その頃の放射線科読影室といえばシャウカステンが壁一面に並べられている光景が目につきます。現在のモニター診断とは異なり画像の読影は、フィルムをシャウカステンにかけ1枚ずつ上から下に解剖学的な連続性を確認しながら病変の有無をチェックして、画像所見と診断結果を手書きで複写の所見用紙に記載していました。そのうえ紙カルテであったこともあり今よりかなり手間のかかる作業でした。また大学や関連病院でも10-20人くらい入院患者がおり入局後は読影など放射線科的な業務より病棟業務が中心でした。当然医師としての基礎的な知識・経験が不足していたので病棟管理には苦労しました。

研修医の先生方には多くの診療科で色々な経験を積んで身につけていって欲しいです。また研修を無駄にしないためには将来専攻しない診療科でも今学べることをきっちりやるという姿勢も大切だと考えています。



出身地 兵庫県

いのうえ かずとし
井上 一利さん 出身校 大学入学資格検定▶熊本大学
勤務先▶総合病院鹿児島生協病院

出身地は兵庫県、その後東京の私立大学を卒業、熊本大学に再入学、と鹿児島には縁もゆかりもなかった私ですが、鹿児島県での医師生活も11年目となりました。10年前は乳児だった長男も来年度は中学生、早いものです。小児科医として、また夜間当直の際は他院、他科の先生方にもご指導いただきながら何とかここまでやってこられた、というのが正直なところです。所属の垣根、診療科の垣根なく、気さくに相談に乗って頂けるのが鹿児島県の医療体制の素晴らしいところだと思っています。また、離島医療も他では経験しがたい貴重なものだと思います。初期研修中は視野を広く持ち、やりがいを感じながら働ける診療科を選択してください。

研修医の声



出身地 鹿児島市

すずき りお
鈴木 理央さん 出身校 鶴丸高等学校▶鹿児島大学
研修先▶鹿児島市立病院

初期研修が始まってちょうど1年が経とうとしています。毎日が初めての連続で救急外来や病棟で戸惑うことや悩むことが多かったです。責任が伴う仕事であるというプレッシャーも大きいうえで、成功よりも失敗のほうが多い日々ですが、指導医の先生や先輩方、同期に相談し、助けてもらいながら、1年間過ごすことができました。鹿児島市立病院では、幅広く疾患を見ることができ、研修医としてこれ以上ない恵まれた環境が整っています。貴重な学びの機会を逃さず、研修していきたいと考えています。

2年目になるにあたり、これから意識していきたいことは、患者さんの診断や治療、今後の方針について根拠や見通しをもって診療にあたることです。指導医の先生の思考や実際の動きを吸収し、初期研修修了後に自信をもって診療を行えるようにしたいと思います。仲間と協力し、学びながら自分の進路や将来の医師像についても考える充実した1年間としたいです。



出身地 沖永良部島

みやうち まさや
宮内 雅也さん 出身校 沖永良部高校▶鹿児島大学
研修先▶鹿児島大学病院

初期研修も残すところ1ヶ月となりました。鹿児島大学病院での2年間は多くの先生方や同期に支えられ、沢山の学びを得ることができました。協力型病院であるいまきいれ病院、おぐら病院でも研修させていただき、各科での診療を通して地域医療の現場から専門的医療まで幅広く経験することができました。また日々の診療にくわえ、何度か学会に参加する機会をいただき、多くの刺激を受けました。

来年度からは整形外科医として後期研修を行う予定です。これまでの経験を糧に、患者さんに信頼される医師を目指し、より一層精進してまいります。



出身地 湧水町

くわばた こうたろう
桑畑 剛太郎さん 出身校 楠隼高校▶宮崎大学
研修先▶鹿児島市医師会病院

研修医となって1年が過ぎようとしています。初めは戸惑うことの連続でしたが、上級医や多くのスタッフの方々に支えられながら、仕事をしていく中で少しずつ診療に臨むことができるようになりました。様々な診療科で研修する中で初めは人間関係を築くことに不安がありましたが、その度に温かく迎えていただき、安心して取り組むことができました。手技の面でも、最初の頃は緊張や不安もあり、うまく行うことが難しかったのですが、今では落ち着いて行うことができるようになりました。

時には失敗することもありましたが、その度に反省を繰り返して、自己の成長に繋げることができた実感しています。

初期研修は残り1年となりました。医師として歩む進路について考え、専攻医になったときには、確実に診療にあたるように着実に準備を進めていきたいと思っています。



出身地 鹿児島市

とも かつゆき
塘 勝之さん 出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学
研修先▶米盛病院

早いことに、初期研修医として勤務始めてもうすぐ1年が経とうとしています。1年前の自分と今の自分を比較すると、大きく成長しているのではないかと思います。学生時代は遊ぶことしか考えていなかったため、社会人・医療人として働き始めた頃は何も分からず東奔西走する日々でした。勿論今でも分からないことばかりではありますが…

この1年間は大変ありがたいことに様々な方々との出会いがありました。同期、先輩、上級医を始めとして、多職種の方々に支えられて1年間を過ごすことが出来ました。時には失敗もあり、落ち込むこともありましたが、沢山失敗できるのがこの2年間だと思い、前向きにチャレンジしてきました。残りの1年も多くの方々と共に成長し、自分の理想とする医師像に近づけるよう直向きに頑張りたいと思います。